

購入・取付時の注意点は？

技術上の規格に適合したものを購入しましょう

規格省令に適合することを日本消防検定協会等の第三者機関が確認した住宅用火災警報器には、その旨の表示がされていますので、購入時の目安としてください。
(日本消防検定協会の鑑定マーク【NSマーク】)



住宅用火災警報器の種類

消防法で設置が義務づけられているのは煙を感知する(煙式)住宅用火災警報器です。代表的な住宅用火災警報器を紹介します。

代表的な住宅用火災警報器(例)			
取付け:天井埋め込み 電源:AC100V 警報音:ブザー 検知方法:煙式	取付け:天井 露出 電源:電池 警報音:ブザー 検知方法:煙式	取付け:天井 露出 電源:電池 警報音:ブザー 検知方法:煙式	取付け:壁 露出 電源:電池 警報音:音声+ブザー 検知方法:煙式

煙式(光電式) 寝室・階段など

煙が住宅用火災警報器に入ると音や音声でお知らせします。

原則として煙式を設置してください。

電池を使うタイプ

電池の交換 電池切れ警報(音又はランプ)が出たら、電池を交換します。

熱式(定温式) 車庫・台所など

住宅用火災警報器の周囲温度が一定の温度に達すると音や音声でお知らせします。

家庭用電源を使うタイプ

コンセントへ差し込むもの コンセントがあれば、比較的簡単に設置できます。

販売している場所

お近くのホームセンターや防災設備等の取扱い店でご購入いただけます。
詳しい販売店リストについては下記サイトをご覧ください。

住宅防火対策推進協議会 <http://www.jubo.go.jp/index2.html>

日本火災報知機工業会 http://www.kaho.or.jp/alarm_for_home/text/list.html

価格の目安

価格は、メーカーや種類、機能、電池の寿命等により異なります。



下記の位置に取りつけましょう

できるだけ早く煙をキャッチできるように、煙を感知しやすい場所に設置しましょう。

- ① 壁又ははりから0.6m以上離れた天井の屋内に面する部分(平成16年総務省令第138号第7条第2号イ)
- ② 天井から下方0.15m以上0.5m以内の位置にある壁の屋内に面する部分(同第7条第2号ロ)
- ③ 換気口等の空気吹き出し口から1.5m以上離れた位置(同第7条第3号)

○壁の上部や天井に取りつけます。
○また、計測位置は住宅用火災警報器感知部から壁(あるいは天井)までの距離を指します。
○詳しい取り付け方法は、取扱説明書をご参照ください。